Pigeon
ピジョン
チャイルドシート

取扱説明書 保証書付き

13.07（1）

cuna more

クーナ モア

ECE R44/04対応
質量グループ GO+,G1

警告
お子様の体重が10kg未満のときは必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は大変危険です。

このたびは、ピジョンチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの際にお子様の傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子様を無傷で守るものではありません。

また本製品をご使用するときには、必ず保護者の方が目を離さないでください。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてお使いください。本書はお読みになった後、製品背面のポケットに収納し、いつでも読めるようにしてください。

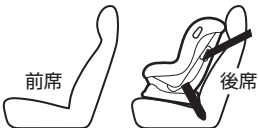
もくじ

お使いいただく前に

本製品は交通事故などでお子様が受ける衝撃を減少させる自動車専用の年少者用補助乗車装置です。しかしどのような事故からも100%お子様を守ることはできません。安全運転を心がけ、事故発生に注意してください。また、チャイルドシートを使用するときには、必ず保護者の方が同乗してください。

お使いいただけるお子様の条件

次の条件をすべて満たすお子様にお使いいただけます。

●体重:18kg以下のお子様(参考年齢…新生児～4才ころ)

7kg未満:ヘッドパッド、インナークッションを使用
10kg未満:後向きに取り付けて使用
10kg以上13kg未満:後向き・前向きどちらでも使用可能
13kg以上:必ず前向きで使用

●身長:お子様の後頭部が背もたれより上にでないお子様

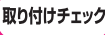
お子様の条件
●体重13kg未満
●参考月齢:新生児～1歳半頃まで
※新生児とは体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上。
使用条件
●体重7kg未満はヘッドパッドとインナークッションを使用。
その他条件
●角度チェッカーを使って適切な角度に調節すること。

お子様の条件
●体重10kg以上～18kg以下
●参考月齢:10ヶ月頃～4歳頃
使用条件
●前向きではヘッドパッドとインナークッションは使用禁止。
その他条件
●お子様が座って後頭部が背もたれを超えないこと。

お客様登録はがきについて　※必ずお読みください。

このたびは、当社チャイルドシートをご購入していただき誠にありがとうございます。

万一ご購入いただいた製品に問題が発生し、リコール等ありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等させて頂くため、是非ご登録の程宜しくお願いいたします。

取り付けできない座席

	シートベルトの付いていない座席。		2点式シートベルトの座席。
	シートベルトが座席の中央から出ている座席。(チャイルドシートのベルト通し穴の位置よりも、前方向にシートベルトが付いている座席。)		車のヘッドレストとチャイルドシートの背もたれがぶつかる場合は車のヘッドレストを取りはずしてください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、思わぬ危険をまねく恐れがあります。
	エアバッグが装着された座席への使用はしないでください。エアバッグの作動によって生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。サイドエアバッグの場合には使用できます。		

●助手席。

●進行方向に対して横向き、および後向きの座席。

●極端なバケットシート。座席の中央が深くくぼんでいる座席。

●パッシブシートベルトの座席。
(車両の座席に座ってドアを閉めると、自動的に装着してくれる装備のこと)

●座席の奥行きが40cm未満の座席。

●しっかりと固定できない場合、使用しないこと。

●ご不明な点は、当社お客様相談室までお問合せください。

安全にお使いいただくために

本書には製品を使用する上で、ご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。記載内容は、製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を事前に防止するためのものです。記載内容を守られなかった場合は、お子様や保護者の方、および他の人々が重大な傷害を受ける恐れがあります。
本書では取扱いを誤った結果、使用者、乳幼児に発生が予想される危害・傷害の大きさや切迫度により項目を［警告］［注意］の2項目に分け、ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

表示	表示の内容
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがあります。
取り付けチェック	安全のため、必ず確認する事項を記載してあります。
ワンポイント	安全と快適な使用のための基礎知識を記載してあります。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

	取扱説明書の通りに設置してください。設置が不十分の場合、衝突および急停車時、車両からお子様が落ちて出たり、頭をガラスに打つなどして生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。		エアバッグが装着された座席への使用はしないでください。エアバッグの作動によって生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。サイドエアバックの場合には使用できます。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

	本装置はECE規則No.16、または同等の基準で認可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備した自動車にてご使用することができます。		お子様がバックルのプレスボタンを押すことのないようにご注意ください。常に差込タングがはずれていないか確認してください。差込タングが抜けている場合、衝突および急停車時、生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。
	お子様を座らせるたびにアジャストベルトを引いて乳幼児を密着させてください。肩ハーネスが本来の機能を発揮できない場合、生命の危険または重大な損害をうける恐れがあります。 肩ハーネスがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息する恐れがあります。		肩ハーネス、腰ハーネスにキズがついた場合は使用できません。

●運転中にチャイルドシートの操作を行わないでください。
必ず安全な場所に停車して行ってください。

●衝突事故などで強い衝撃を受けたチャイルドシートは、絶対に再使用はしないでください。

●後部座席に人が乗る場合、乗車ドア側には緊急脱出口確保のため、設置しないでください。

●お子様を車内に一人で絶対に放置しないでください。

●車両シートにクッションや座布団を敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されない恐れがあります。

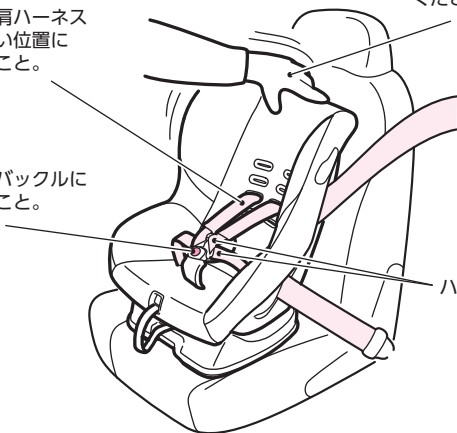
●本製品を絶対に分解、改造しないでください。また、取扱説明書に記載されていない取扱いをしないでください。

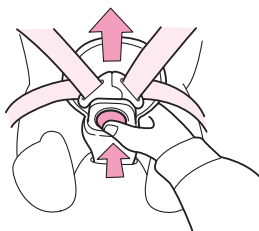
●衝突および急停車時にケガなどの原因になりますので、お子様が未乗車の時でもチャイルドシートは、しっかりと設置してください。

●新生児(体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上)に使用するときは運転手以外の同乗者が新生児をみていてください。お子様の負担を考慮し長時間の連続乗車はしないでください。

●バックルに飲み物や食べ物などが入った時は、故障の可能性がありますので、修理が必要です。
使用を中止し、当社修理センターまでお問い合わせください。

日常の点検

チャイルドシートは、走行前に次の日常点検をしてください。

緊急時の脱出

事故などの緊急時には、落ち着いてお子様を救出してください。

①バックルのプレスボタンを押して差込タングをはずします。

②肩ハーネスをはずし、お子様をチャイルドシートから降ろします。

注意　誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがあります。

	車両のシート素材(特に本革など)によっては、座席にキズがつく恐れがありますので、そのまま取り付けずに、大きなタオルなどをチャイルドシートと車両シートの接触面に敷いてご使用ください。		チャイルドシートにお子様を乗せた状態では車両への着脱はしないでください。
	チャイルドシートを設置したとき、車両ドアおよびスライドシートなどのかたい部分にぶつけたり、挟まっていないかどうか確認してください。		チャイルドシートの設置時にはベルトカバーを必ず取り付けてください。

●お子様がチャイルドシートの上でいたずらをしないように注意してください。
またお子様のおもちゃとして使用しないでください。

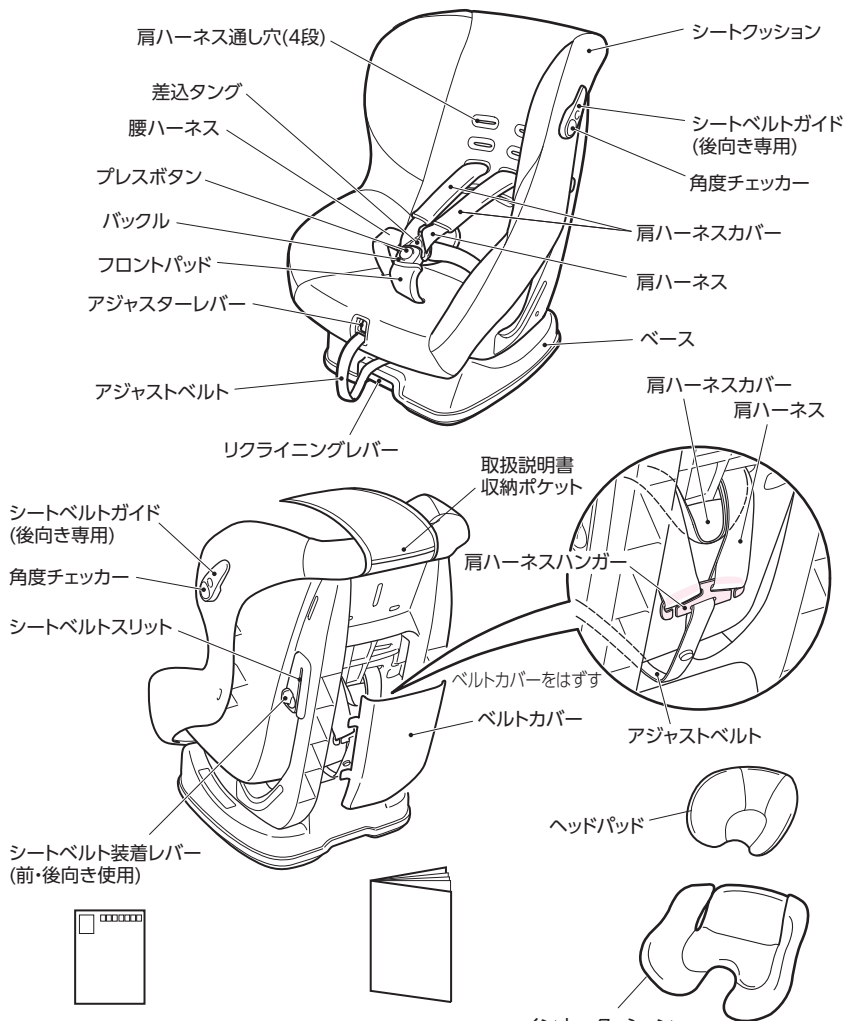
●チャイルドシートは自動車専用の製品です。

●衝突および急停車時にケガなどの原因になる恐れのあるものなどはしっかりと固定してください。

●部品(シートクッション類)をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外の部品(シートクッション類)は使用しないでください。
(衝突時の安全性能に影響を与える恐れがあります。)

●チャイルドシートを長時間直射日光に当てると、金属およびプラスチック部分が熱くなり、やけどの可能性があります。保護者が確認してからお子様を座らせてください。

各部の名称

開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。
●チャイルドシート本体
●取扱説明書(今ご覧の冊子です)※イラストと実際の商品は、形状など異なる場合があります。

車両に取り付ける前に

取り付け可能な車両シートベルトの種類

取り付ける前に車両シートベルトの種類を確認してください。

警告

- 本装置はECE規則No.16、または同等の基準で認可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備した自動車にてご使用することができます。
- 2点式シートベルトでの設置はできません。

3点式シートベルトとは

腰ベルトと肩ベルトの
3点で体を保持する
シートベルトのこと。

2点式シートベルトとは

腰ベルトの左右2点で
体を保持するシート
ベルトのこと。

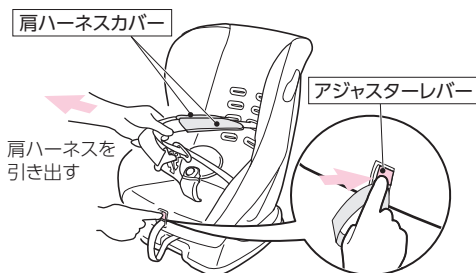
	特徴	本製品設置注意点	設置可能
AELR (チャイルドシート固定機構付ELR)	チャイルドシートを装着するための装置が備えられているシートベルト。	チャイルドシートをしっかりと装着し、シートベルトを全部引き出してALR機能に転換してください。	○
ALR (自動ロック式ベルト巻き取り装置付)	シートベルトを引き出している途中で手を止めるとロックされ、それ以上ベルトが引き出せないタイプ。	チャイルドシートを装着するために、装着に必要なベルト長さを一度に取り出し、チャイルドシートをシートベルト装着レバーでしっかりと装着してください。	○
ELR (緊急ロック式ベルト巻き取り装置付)	シートベルトをゆっくりと引き出すと出し入れできるが、急に引くとシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。	チャイルドシートをシートベルト装着レバーでしっかりと装着してください。	○
その他のシートベルト	表にない全製品。	チャイルドシートを装着することができません。	×

お子様の座らせかた

警告

- お子様を座らせるたびに必ずアジャストベルトを引いてお子様をチャイルドシートに密着させてください。
  密着させないとベルトが本来の機能を発揮できず、生命の危険または重大な傷害につながります。
- 両足が分かれない衣類等を着用して乗せないでください。
- タオルなどでくるんで両足が分かれない状態で乗せないでください。
- 腰ハーネスは低く下げた位置で使用し、お子様の骨盤をしっかり固定してください。

1 バックルのプレスボタンを押し、アジャスターレバーを押したまま肩ハーネスを引き出します。

- 注意：このとき、肩ハーネスのみ持ち、肩ハーネスカバーを持たないでください。

2 お子様を座らせ、肩ハーネスを着用します。お子様の肩の高さに合うように肩ハーネスの高さを調節してください。(P13「肩ハーネス高さの調節のしかた」参照)

3 差込タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、ロックします。(P11「バックルの使いかた」参照)

4 アジャストベルトを引いて肩ハーネスを密着させます。
着用したら肩ハーネスがしっかり固定され、ゆるんだりしない事を確認してください。

- アジャストベルトを引く際に、アジャスターレバー部で音が発生する事がありますが異常ではありません。

ワンポイント

肩ハーネスの調節具合は、お子様の胸と肩ハーネスの間に大人の手(開いた状態)が通るくらいが適当です。

バックルの使いかた

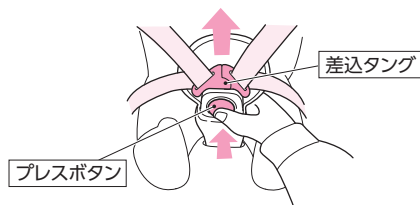
警告

- チャイルドシートのバックルを解除した状態での使用は絶対におやめください。
- バックル操作は必ず停車中にしてください。走行中の操作は絶対におやめください。
- バックルに飲み物や食べ物などが入った時は、故障の可能性がありますので、修理が必要です。
  使用を中止し、当社修理センターまでお問い合わせください。

注意

- 夏や真昼は車内の温度が急速に上昇しますので、太陽光の当たる場所に車を長時間停車させる場合は大きいタオルなどで本製品を覆ってください。特に差込タング部分は鉄材で作られていますので車内の温度が上昇した場合、やけどの危険があります。

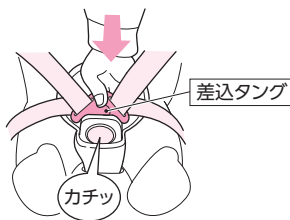
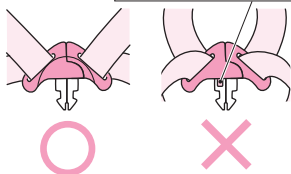
バックルの解除のしかた

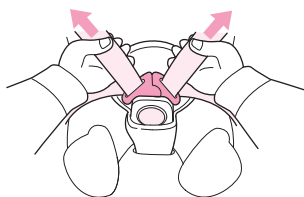
1 バックルのプレスボタンを押して差込タングを取り出します。

2 左右の組み合わされている差込タングをはずします。

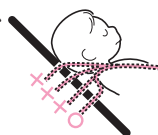
バックルの装着のしかた

1 **左右の差込タングを上下に組み合わせます。**

2 **組み合わせた差込タングの裏側(お子様側)凸部をバックル差込口の凹部に合うようにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。**

● 警告：「カチッ」と音がしないまたは確実にロックできない場合は、使用を中止し、当社修理センターまでお問い合わせください。

3 **差込タングのロックを確認してください。**

引っ張って確認する

肩ハーネス高さの調節のしかた

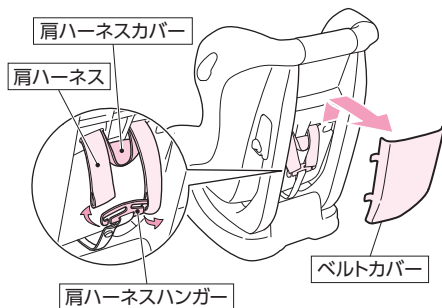
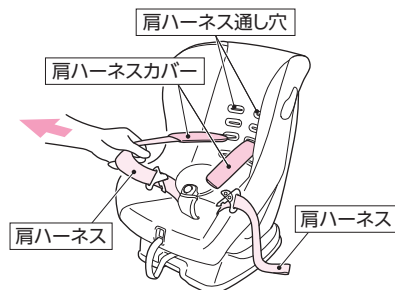
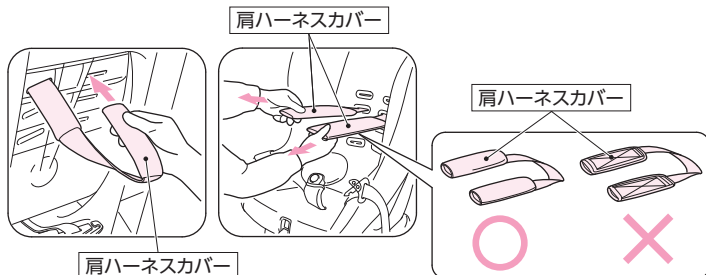
チャイルドシートの肩ハーネスの高さは、車に取り付けてからでは調節できません。車両に設置する前に、お子様を座らせ、ベルト通し穴の位置やベルトの長さをお子様の体に合わせてください。**特に低月齢のお子様にはご注意ください。**
お子様を座らせたとき、右図を参考に肩ハーネスの高さ位置を変えてください。

後向き　前向き

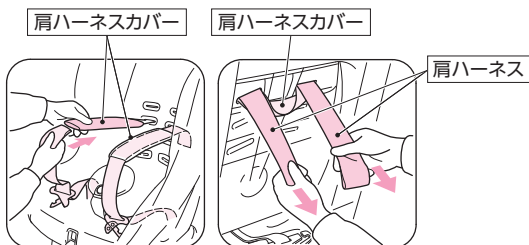
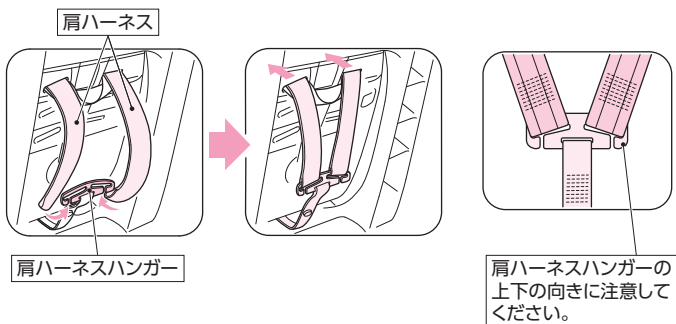
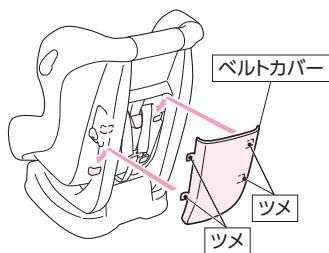
後向き使用時:お子様の肩よりもすぐ下の肩ハーネス位置
前向き使用時:お子様の肩よりもすぐ上の肩ハーネス位置

警告

- ●お子様を座らせるたびに必ずアジャストベルトを引いて(P10「お子様の座らせかた」参照)お子様をシート背面に密着させてください。肩ハーネスが本来の機能を発揮できず、生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。
- ●ベルトカバーは必ず取り付けてください。肩ハーネスが本来の機能を発揮できず、生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。
- ●肩ハーネスの位置はお子様の体格に合うように必ず調節してください。チャイルドシートが十分な効果を発揮できないことがあります。
- ●必ず肩ハーネスカバーをお使いください。肩ハーネスが本来の機能を発揮できず、生命の危険または重大な傷害を受ける恐れがあります。
- ●肩ハーネスカバーが必ずお子様に密着するように装着してください。
- ●肩ハーネスカバーは必ず左右同じ高さで装着してください。万一の場合チャイルドシートが十分な効果を発揮できないことがあります。

1 本体裏面のベルトカバーをはずし、肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを取りはずします。

> **ワンポイント**
>
> 肩ハーネスハンガーが本体の下側に入ってしまうことで、肩ハーネスハンガーが見つからない場合があります。
>
> この場合、アジャスターレバーを押した状態で(P10参照)肩ハーネスを引っ張ると下側の肩ハーネスハンガーが上に上がり、見つけることができます。

2 肩ハーネスを肩ハーネスカバーおよび肩ハーネス通し穴から引き抜きます。肩ハーネスカバーを背面側から引き抜きます。

3 お子様の肩の高さに適正な肩ハーネス通し穴に、肩ハーネスカバーをチャイルドシートの背面側から通します。
肩ハーネスカバーはゆっくりと押し込めば通しやすくなります。

裏表を間違わないようにしてください。
縫い目のある方がお子様側になります。

4 肩ハーネスを肩ハーネスカバーおよび肩ベルト通し穴に通します。

5 肩ハーネスハンガーに左右の肩ハーネスをかけます。

6 ベルトカバーの4ヶ所のツメを本体にかけて取り付けます。

取り付けチェック **※取り付け後必ず確認してください。**

- ●肩ハーネスやアジャストベルトがねじれていませんか?
- ●肩ハーネスが肩ハーネスハンガーにしっかりとかかっていますか?
  ※肩ハーネスを引っ張って確認してください。
- ●差込タングの裏表が正しくなっていますか?

リクライニングレバーの使いかた

チャイルドシートの座席の下のリクライニングレバーを手前に引き、リクライニング角度を調節します。
リクライニング角度を調節後、リクライニングレバーから手を離して本体を前後にゆすり、しっかりとロックされた状態であることを確認してください。

警告

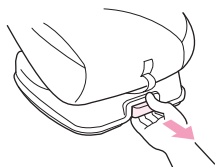
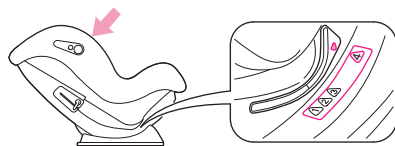
- リクライニング位置を変更する場合、もう一度「取り付けかた」に従って再装着してください。
- 走行中はリクライニング操作は絶対に行わないようにしてください。

注意

- リクライニング調節は4段までであり、1～3段目は前向き、4段目は後向きにお使いください。
- 前向きの1～3段目は、設置する車両の座席角度に応じて調節してください。

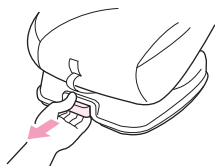
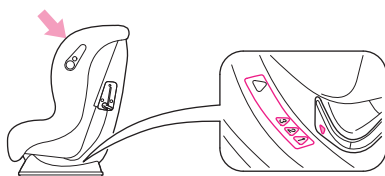
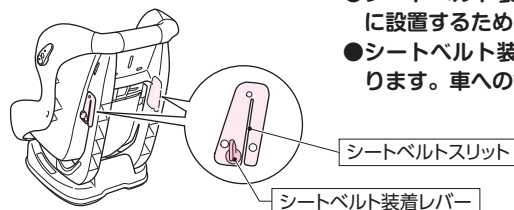
後向き角度調節

チャイルドシートを後向きで使用する場合には、4段目のリクライニング位置に調節します。

1 リクライニングレバーを引きます。

2 レバーを引いた状態のまま、4段目の位置に調節します。
(角度調節位置の確認は本体側面の矢印を参考にしてください)

前向き角度調節

チャイルドシートを前向きで使用する場合には、1～3段目のいずれかのリクライニング位置に調節します。

● 警告：リクライニング位置を変更する場合、もう一度「取り付けかた」に従って再装着してください。

1 **リクライニングレバーを引きます。**

2 **レバーを引いた状態のまま、角度を調節します。**
本製品は3段階リクライニングです。
(角度調節位置の確認は本体側面の矢印を参考にしてください)

シートベルト装着レバーの使いかた

●シートベルト装着レバーはチャイルドシートを車両に設置するための装置です。必ずご使用ください。
●シートベルト装着レバーは本体の左右に一個ずつあります。車への設置位置に従ってご使用ください。

警告

●シートベルト装着レバーとシートベルトスリットは車両シートベルトでチャイルドシートを設置するための装置です。必ずご使用ください。使用しない場合、衝突および急停車時にチャイルドシートが固定されず大変危険です。
●使用前には設置可能な座席かどうか確認してください。(設置できない座席もあります。P3、9参照)取扱説明書の通りに設置できない場合、無理に設置しないでください。

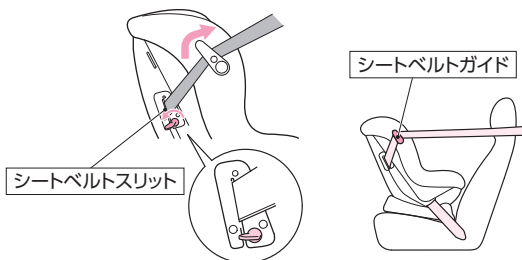
注意

●シートベルト装着レバー操作時に無理にレバーを回したり、引っ張ったりしないでください。

装着のしかた

1 シートベルト装着レバーを上げます。

2 車両シートベルトをシートベルトスリットに通し、車両シートベルトを強く引きながらシートベルト装着レバーをロックします。

- 後向きの取り付けの場合、車両シートベルトをシートベルトガイドにかけます。

解除のしかた

1 車両シートベルトのバックルを解除します。

2 車両シートベルトをシートベルトスリットから抜きます。

ヘッドパッド、インナークッションの使いかた

警告

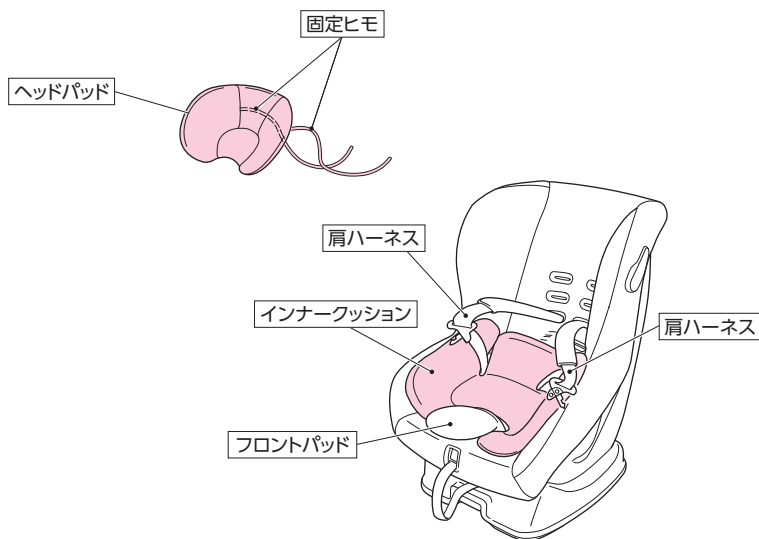
●体重が7kg未満のお子様がご使用の場合は、必ずヘッドパッドとインナークッションをお使いください。
また、お子様の体重が7kg以上となりましたら、必ずヘッドパッドとインナークッションは取りはずしてください。

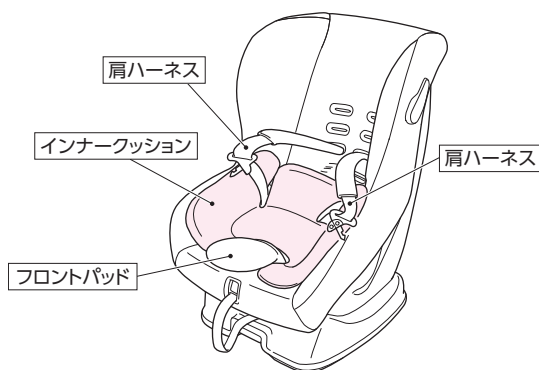
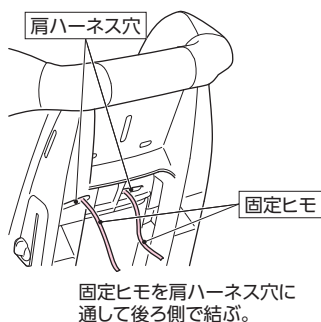
注意

●チャイルドシートはヘッドパッド、インナークッションを持って運搬しないでください。
●はずした部品を車室内に放置しないでください。運転に支障をきたす事があります。

インナークッションとヘッドパッドを使用する場合は、車両へ取り付け作業をする前に本体に取り付けておいてください。

ヘッドパッド、インナークッションの取りはずしかた

●フロントパッドを前側に倒し、肩ハーネスを広げてインナークッションをはずします。
●ヘッドパッドは本体の後ろ側で結んだ固定ヒモを解いてはずします。

ヘッドパッド、インナークッションの取り付けかた

1 フロントパッドを前側に倒し、肩ハーネスを広げてインナークッションを置きます。

2 ヘッドパッドはお子様の頭の高さに合わせ、ヘッドパッドの固定ヒモを肩ハーネス穴に通して後ろ側で結びます。

取り付けチェック **※取り付け後必ず確認してください。**

- ●ヘッドパッド、インナークッションが本体に取り付けてありますか?
- ●ヘッドパッドがお子様の頭に合う位置にありますか?
- ●固定ヒモが本体後ろ側でしっかりと結んでありますか?
- ●ベルトカバーをしっかり取り付けましたか?

後向きの取り付けかた　10kg未満のお子様には

警告

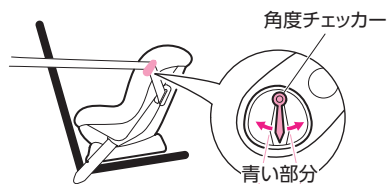
- 10kg未満のお子様を乗せる場合には後向きに取り付けてください。前向きでは絶対に使用しないでください。
- 後向き取り付け時に正しく角度チェッカーを使用できるように、車を平らな場所に駐車して作業してください。
- 本書の説明および本体のマークの通りに必ず取り付けてください。
  他の方法による取り付けは絶対にしないでください。

取り付ける前の準備

- お子様の体格に合わせ、肩ハーネスの高さを調節してください。
  (P13「肩ハーネス高さの調節のしかた」参照)
- チャイルドシートのリクライニング位置を4段目に調節します。
  (P16「後向き角度調節」参照)
- 車両のシートの背もたれはチャイルドシートと密着するように起こしてください。
- チャイルドシートの底部が車両の座席面に密着するように置きます。
- 角度チェッカーの針が青い部分の中に完全に入るように角度調節をしてください。
  (P22「角度チェッカーの使いかた」参照)

角度チェッカーの使いかた

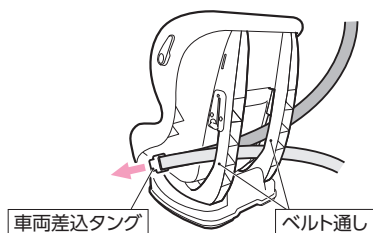
新生児～体重13kg未満のお子様を乗せる場合、後向き設置の正しい角度での使用のために角度チェッカーを使います。

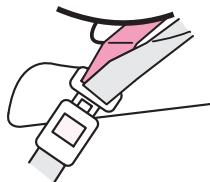
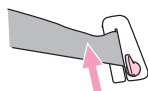
(車両が水平な状態で調節してください)

チャイルドシートの背もたれを安全な角度で維持するように、角度チェッカーの針が青い部分に完全に入るように角度を調節してください。

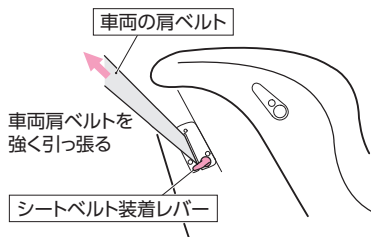
- 針の動きがスムーズでないときは、軽く本体を揺すってください。

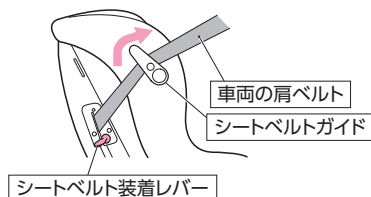
座席への取り付けかた

1 チャイルドシートを車両シート背もたれに密着させて置き、車両シートベルトを引き出します。

2 引き出した車両シートベルトの差込タングを、本体の背面の両側にあるベルト通しに沿って通します。

3 車両差込タングを車両バックルに固定します。

- 車両シートベルトにねじれがないように注意してください。

4 3でロックした車両バックルの反対側のシートベルトスリットに、車両の肩ベルトを通します。
（P18「シートベルト装着レバーの使いかた」参照）

5 チャイルドシートの上に体重を乗せて、車両の肩ベルトを強く引っ張り、車両シートベルトのゆるみを取ります。

6 車両肩ベルトを強く引きながらシートベルト装着レバーをロックします。

7 シートベルト装着レバーで固定した車両シートベルトをシートベルトガイドにかけます。チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替えます。

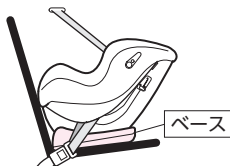
- シートベルトを必要以上に巻き上げないでください。

ワンポイント
チャイルドシート固定機能の詳しい取扱いについては、お車の取扱説明書をご参照ください。

チャイルドシート取り付け時のチェック

□車両シートベルトの車両差込タングが車両バックルにしっかりと差し込まれていますか?
□車両シートベルトが強く引っ張られて調節されていますか？
□車両シートベルトがシートベルト装着レバーの内側にしっかりとついていますか?
□車両シートベルトにたるみやねじれはないですか?

以上の項目を確認後、車両シートベルトに固定した本体を前後左右に揺すってみて、底の部分が約3cm以上揺れないかを確認してください。
底の部分が約3cm以上揺れる場合、「取り付けかた」に従って再装着してください。

●車両左側から見た設置図

●車両右側から見た設置図

前向きの取り付けかた

●車のヘッドレストとチャイルドシートの背もたれがぶつかる場合は車のヘッドレストを取りはずしてください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、思わぬ危険をまねく恐れがあります。

●本書の説明および本体のマークの通りに必ず取り付けてください。
他の方法による取り付けは絶対にしないでください。

取り付ける前の準備

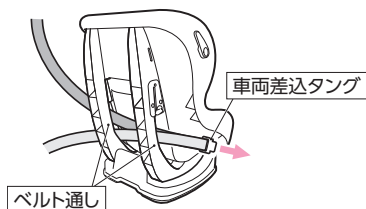
●車両のシートの背もたれはチャイルドシートと密着するように起こしてください。

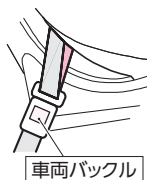
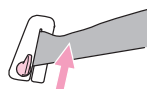
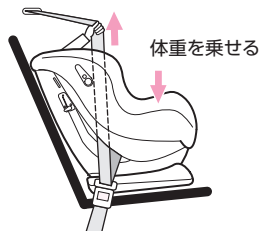
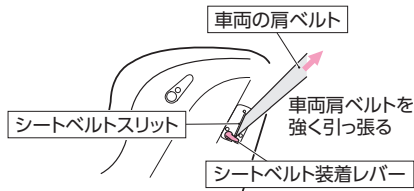
●チャイルドシートのリクライニング位置を設置する車両の座席角度に応じて、1〜3段目のいずれかに調節します。
(P17「前向き角度調節」参照)

●お子様の体格に合わせて肩ハーネスの高さを調節してください。
(P13「肩ハーネス高さの調節のしかた」参照)

座席への取り付けかた

1 **チャイルドシートを車両シート背もたれに密着させて置き、車両の肩ベルトを引き出します。**

2 **車両ベルトの車両差込タングを本体背面の両側にあるベルト通しに沿って通します。**

3 **車両差込タングを車両バックルにロックします。**

- 車両シートベルトにねじれがないように注意してください。

4 **3でロックした車両バックルの反対側のシートベルトスリットに、車両の肩ベルトを通します。**
(P18「シートベルト装着レバーの使いかた」参照)

5 **チャイルドシートの上に体重を乗せて、車両の肩ベルトを強く引っ張り、車両シートベルトのゆるみを取ります。**

6 **車両肩ベルトを強く引きながらシートベルト装着レバーをロックします。チャイルドシート固定機能の付いたお車の場合、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替えます。**

チャイルドシート取り付け時のチェック

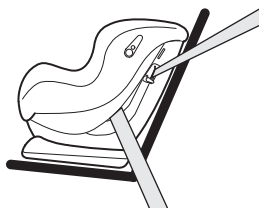
□車両シートベルトの車両差込タングが車両バックルにしっかりと差し込まれていますか?

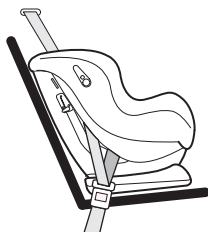
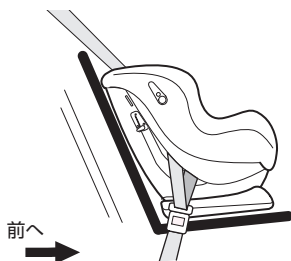
□車両シートベルトが強く引っ張られて調節されていますか?

□車両シートベルトがシートベルト装着レバーの内側にしっかりとついていますか?

□車両シートベルトにたるみやねじれはないですか?

以上の項目を確認後、車両シートベルトに固定した本体を前後左右に揺すってみて、底の部分が約3cm以上揺れないかを確認してください。

底の部分が約3cm以上揺れる場合、「取り付けかた」に従って再装着してください。

●車両左側から見た設置図

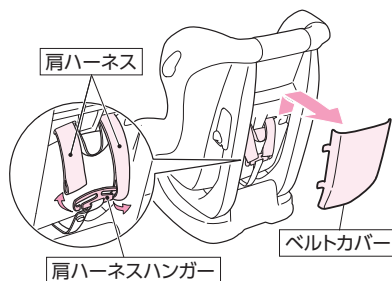
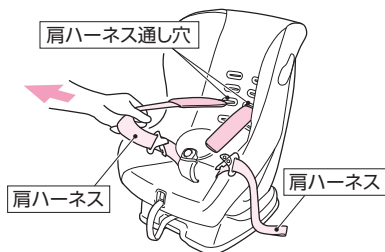
●車両右側から見た設置図

より確実に固定するために

チャイルドシートを取り付ける車両シートが前後にスライドし、車両シートベルトがAELR(チャイルドシート固定機構付ELR)の場合、チャイルドシートをしっかりと装着し、シートベルトを全部引き出してALR機能に転換した後、車両シートを前側にスライドさせることで、より確実に固定できます。

お手入れのしかた

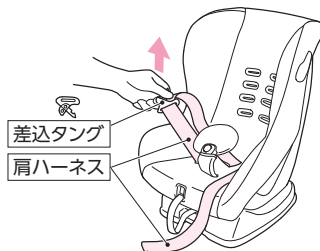
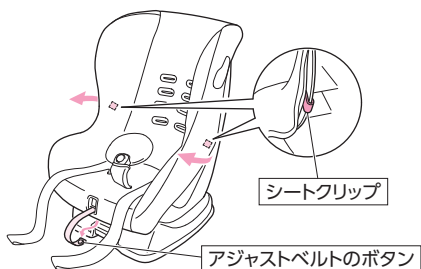
シートクッションのはずしかた

1 本体裏側のベルトカバーをはずし、肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを引き抜きます。

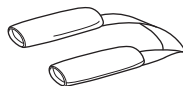
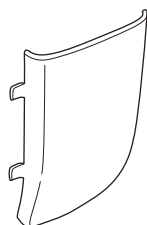
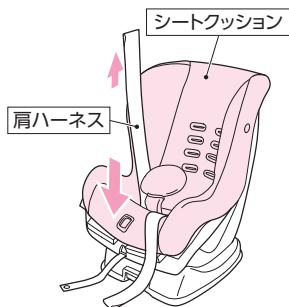
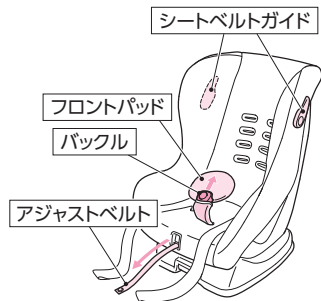
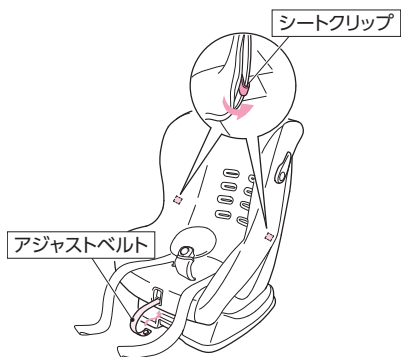
ワンポイント

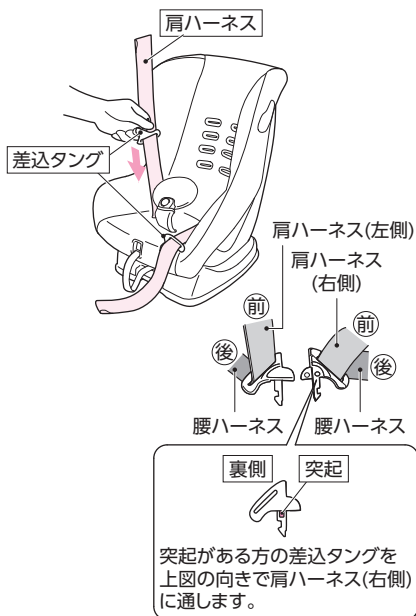
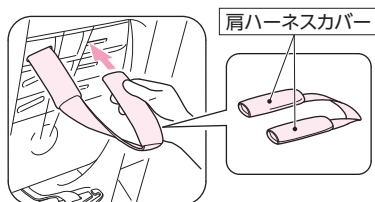
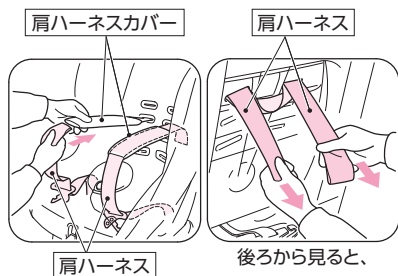
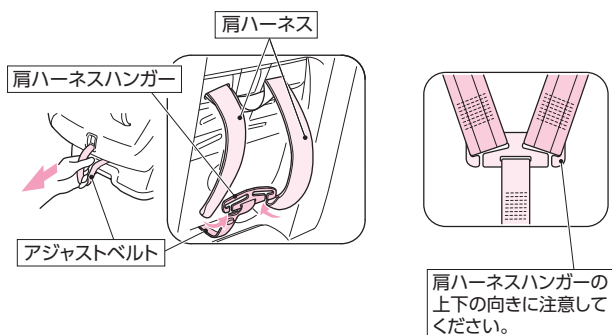
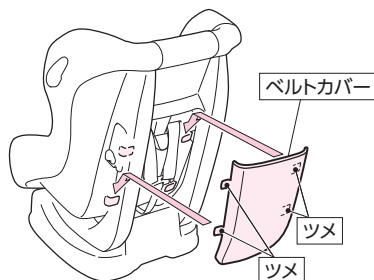
肩ハーネスハンガーが本体の下側に入ってしまうことで、肩ハーネスハンガーが見つからない場合があります。
この場合、アジャスターレバーを押した状態で(P10参照)肩ハーネスを引っ張ると下側の肩ハーネスハンガーが上に上がり、見つけることができます。

2 肩ハーネスを肩ハーネスカバーおよび肩ハーネス通し穴から引き抜きます。肩ハーネスカバーを背面側から引き抜きます。

肩ハーネスを引き抜き、
このような状態にする。

後背面から肩ハーネス
カバーを引き抜く。

3 差込タングを肩ハーネスからはずします。

4 シートクッション前側裏面のアジャストベルトのボタンをはずし、シートクッション側面のシートクリップをはずします。

5 シートクッションを本体からはずします。

シートクッションの取り付けかた

取り付ける部品

1 シートクッションに肩ハーネスを通し、シートクッションを本体に合わせます。

2 フロントパッドの中にバックルを通して表に出し、アジャストベルトも穴から外へ出します。
両側のシートベルトガイドをシートクッションの穴より外へ出します。

3 左右2か所のシートクリップを本体に引っかけて固定します。
アジャストベルトのボタンをシート下に止めます。

4 差込タングを肩ハーネスに通します。

- 差込タングをセットする際、図のように肩側が前、腰側を後ろにして、ねじれないように注意してください。

5 肩ハーネスカバーをチャイルドシートの本体裏面から、お子様の肩位置に合った肩ハーネス通し穴に通します。肩ハーネスカバーはゆっくりと押し込めば通しやすくなります。(P14参照)

6 肩ハーネスを肩ハーネスカバーと肩ハーネス通し穴に通します。

7 肩ハーネスを肩ハーネスハンガーに通し、本体前面のアジャストベルトを引っ張ります。

8 ベルトカバーの4ヶ所のツメを本体にかけて取り付けます。

取り付けチェック **※取り付け後必ず確認してください。**

- ●肩ハーネスやアジャストベルトがねじれていませんか?
- ●肩ハーネスが肩ハーネスハンガーにしっかりとかかっていますか?
  ※肩ハーネスを引っ張って確認してください。
- ●差込タングの裏表が正しくなっていますか?

日常のお手入れ

お手入れのしかた

シートクッションのお手入れ

カバー類が汚れた場合は、チャイルドシートから取りはずし、シートクッション、ヘッドパッドカバー、インナークッションカバーは中性洗剤を使用してぬるま湯で手押し洗いで洗濯してください。洗濯機の脱水は避け、通気性が良い日陰で乾かしてください。シンナーなどの溶剤の使用は表面のシートおよび樹脂に跡が残ることがありますので絶対におやめください。

インナークッションカバーの取りはずしかた

インナークッションカバー底面の面ファスナーをはずし、中のパッドを抜き取ります。洗濯後は完全に乾いた状態で、パッドを詰め、面ファスナーを合わせます。

本体(プラスチック部分)のお手入れ

チャイルドシート本体、パッドなどのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。水拭き後は完全に乾燥させてご使用ください。

洗濯時の注意

表示	内容
手洗い 30	液温は30℃以下、手洗い。
エンソサラシ（×）	塩素系漂白剤は使用しない。
アイロン（×）	アイロンがけはしない。
ドライ（×）	ドライクリーニングはしない。
吊り干し	日陰で吊り干し。
ヨワク	手絞りの場合は弱く絞る。強く絞ると、シワが残ることがある。

保管のしかた

取扱説明書

- 取扱説明書(本書)は、お読みになった後もシートクッション裏面のポケットに保管してください。

チャイルドシート

- 火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所での放置、保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。
- チャイルドシートの上に荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。故障・変形の原因となります。

完了チェック

チャイルドシート取り付け時のチェック

□車両シートベルトの車両差込タングが車両バックルにしっかりと差し込まれていますか?
□車両シートベルトが強く引っ張られて調節されていますか?
□車両シートベルトがシートベルト装着レバーの内側にしっかりとついていますか?
□車両シートベルトにたるみやねじれがないですか?

以上の項目を確認後、車両シートベルトに固定した本体を前後左右に揺すってみて、底の部分が約3cm以上揺れないかを確認してください。
底の部分が約3cm以上揺れる場合、「取り付けかた」に従って再装着してください。

お子様を乗せた時のチェック

□チャイルドシートの肩ハーネスの高さは適切ですか?
□肩ハーネスとアジャストベルトが絡まっていませんか?
□バックルと差込タングは確かに締まりましたか?
□アジャストベルトは調節しましたか?
□肩ハーネスハンガーに肩ハーネスがきちんと取り付けられていますか?
□お子様の骨盤が安定するように腰ハーネスを着用させましたか?

アフターサービスについて

●ご使用中に故障などが発生したり、点検中に破損などを発見した場合、部品の交換、修理の必要が生じた場合、およびその他異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、製品名、本体後面貼付のシールに記載されているシリアル番号をご確認の上、お買い上げの販売店または、当社修理センターまでご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。

●保証期間中(お買い上げ日より1年間)に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定に基づき無償修理いたします。保証期間を終了した場合の修理、部品販売については有償にて承ります。ご購入日より1年以上経過した製品の修理においては製品修理箇所以外の品質保証はいたしかねます。修理箇所の保証期間は3ヶ月です。

●製造中止後、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。

●ご使用中に本製品が破損したり次のような場合には、ただちに使用を中止してください。

・シートクッション・ハーネス類のやぶれ・切れ・ほつれが生じた時。

・あきらかに操作性に異常や、障害を感じた時。

・製品が変形したり、損傷が生じた時。

・取りはずし可能な付属部品を紛失した時。

・プラスチック部品や金属部品のひび割れや変形・破損が生じた時。

・部品の交換、修理が必要な箇所を発見した時はただちに使用を中止して、当社修理センターまでご連絡ください。

●本製品の修理や部品販売の際は、修理・販売部品の色や仕様が今までご使用いただいていたものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

●本製品はお一人のお子様でご使用いただき、体重が18kgを超えたら使用を中止してください。

保証について

ご使用中に万一、故障が発生した場合には、現品に品質保証書(本書)を添えて、お買い上げの販売店またはピジョン(株)修理センターへ修理をご依頼ください。

品質保証書

保証規定
1. 有効保証期間はお買い上げ後1年間です。
2. 製造中止後の製品は部品在庫がなくなった場合、修理出来ないこともあります。
3. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取替えすることはできません。
4. 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において､万一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5. 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
   A、プラスチック部品の自然劣化による変退色。
   B、お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
   C、駆動部の自然消耗。
   D、縫製品のやぶれ・すり切れ・ほつれなど。
   E、火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
   F、故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   G、一般のお客様の使用以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
   H、本書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
   I、本書のご提示がない場合。
6. 有償修理時に要する発送費、諸経費はお客様のご負担となります。
7. 本書は再発行いたしません。(大切に保管してください)
8. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。

●お買い上げ後､ただちに下の欄に必要項目を記入してください。保証は日本国内においてのみ有効です。

品名	06281 cuna more(クーナ モア)	シリアルNo.(背面に貼付のシールに記載) CMB-
	保証期間　お買い上げ日より1年間	お買い上げ日　　年　　月　　日
お客様	お名前 ご住所　〒 電話　　　(　　　)	
販売店	店名 住所　〒 電話　　　(　　　)	お買い上げ時のレシート添付でも有効

●この品質保証書は明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、この品質保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

●製品の各種お問い合わせ先
ピジョン株式会社　お客様相談室
〒103-8480　東京都中央区日本橋久松町4-4
TEL 03(5645)1235　受付時間9時～17時(土・日・祝日を除く)

●製品の修理、部品の購入などに関するお問い合わせ
ピジョン株式会社　修理センター
〒300-0315　茨城県稲敷郡阿見町香澄の里36-3
TEL 029(889)5707　受付時間9時～12時、13時～16時30分(土・日・祝日を除く)

お願い
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

●製品の各種お問い合わせ先

ピジョン株式会社 お客様相談室

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4

TEL **03 (5645) 1235**

受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）

●製品の修理、部品の購入などに関するお問い合わせ

ピジョン株式会社 修理センター

〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里36-3

TEL **029 (889) 5707**

受付時間 9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝日を除く）

13.07（1）